

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成22年4月15日 (2010.4.15)

【公表番号】特表2009-533952(P2009-533952A)
【公表日】平成21年9月17日 (2009.9.17)
【年通号数】公開・登録公報2009-037
【出願番号】特願2009-505366(P2009-505366)
【国際特許分類】

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 M 11/00 3 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月25日 (2010.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発呼側クライアントと被発呼側クライアントとの間の通信チャネルを介した情報照会に関連するコンテキスト情報を提供する方法であって、

前記被発呼側クライアントに関連する情報に関する照会を受信するステップ 1 3 0 2 と

、

前記被発呼側クライアントに関連するコンテキスト情報を取得するステップ 1 3 0 2 と

、

前記被発呼側クライアントのコンテキスト情報に基づいて、前記照会に対応する一連の情報を特定するステップ 1 3 0 4 と、

収集された前記一連の情報を提供するステップ 1 3 1 4 と、を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記一連の情報を特定するステップは前記一連の情報を第三機関から取得するステップを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

情報に関する前記照会は前記通信チャネルを介した通話の一部であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記照会に対応する前記一連の情報はロケーション情報を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記ロケーション情報はクライアントで定義されたロケーション情報、またはプロバイダで定義されたロケーション情報を含むことを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

第 1 のクライアントと第 2 のクライアントとの間の V o I P 通信チャネルを介した照会に応じて情報を提供するコンピュータ実行可能成分を有するコンピュータ読み込み可能な記憶媒体であって、

情報に関する照会を受信 1 3 0 2 する情報管理成分と、

前記第 1 のクライアントのコンテキスト情報を処理し且つ前記情報を得るソースを特定

1 3 0 4 する情報処理成分と、を含み、

前記情報管理成分が、前記照会に対応する情報を前記ソースから取得 1 3 0 8 , 1 3 1 2 し、且つ取得された前記情報を前記第 2 のクライアントに対して提供する 1 3 1 4 ことを特徴とするコンピュータ読み込み可能な記憶媒体。

【請求項 7】

前記情報処理成分は、複数のソースを特定し 1 3 1 0、且つ前記コンテキスト情報に基づいて最も適切なソースを選択することを特徴とする請求項6に記載のコンピュータ読み込み可能な記憶媒体。

【請求項 8】

前記情報照会が前記第 2 のクライアントから受信されることを特徴とする請求項6に記載のコンピュータ読み込み可能な記憶媒体。

【請求項 9】

前記情報処理成分がいなかるソースも特定できない場合、前記情報管理成分は所定のデフォルト情報を送信することを特徴とする請求項6に記載のコンピュータ読み込み可能な記憶媒体。

【請求項 10】

前記情報処理成分は前記取得された情報を追加することによってコンテキスト情報を更新し、前記情報管理成分は当該更新後のコンテキスト情報を送信することを特徴とする請求項6に記載のコンピュータ読み込み可能な記憶媒体。

【請求項 11】

第 1 のクライアントと第 2 のクライアントとの間の通信チャネルを介したロケーションに関連するコンテキスト情報を提供する方法であって、

第 1 のクライアント 4 0 6 , 6 0 6 のロケーション情報に関する照会を受信するステップ 1 3 0 2 と、

前記照会を受信すると、前記第 1 のクライアントに関連する一連のコンテキスト情報を取得するステップ 1 3 0 2 と、

前記ロケーション情報が前記取得された一連のコンテキスト情報から入手可能であるか否かを判断するステップ 1 3 0 6 と、

前記ロケーション情報が入手可能である場合に前記第 2 のクライアント 4 0 8 , 6 0 8 に対してロケーション情報を提供するステップ 1 3 1 4 と、を含むことを特徴とする方法。

【請求項 12】

前記第 2 のクライアント 4 0 8 , 6 0 8 から受信されるコンテキスト情報の一部として前記情報照会が受信され、前記コンテキスト情報は前記第 1 のクライアント 4 0 6 , 6 0 6 と前記第 2 のクライアント 4 0 8 , 6 0 8 との間の V o I P 通信チャネルを介した通話に関連していることを特徴とする請求項1 1に記載の方法。

【請求項 13】

前記第 2 のクライアント 4 0 8 , 6 0 8 から受信された前記コンテキスト情報に基づいて前記ロケーション情報のタイプを特定するステップ 1 3 1 0 をさらに含み、前記ロケーション情報の前記タイプは前記第 1 のクライアント 4 0 6 , 6 0 6 の地理的位置またはネットワーク位置を含むことを特徴とする請求項1 2に記載の方法。

【請求項 14】

前記ロケーション情報が利用できないで場合、前記一連の取得されたコンテキスト情報に基づいて前記ロケーション情報を取得するための少なくとも一つのソースを判断し、且つ前記少なくとも一つのソースから前記ロケーション情報を取得するステップ 1 3 1 0 をさらに含むことを特徴とする請求項1 1に記載の方法。

【請求項 15】

前記ロケーション情報の前記少なくとも一つのソースが全地球位置発見システムサーバ 6 1 4 またはロケーションサービスサーバ 6 1 4 を含むことを特徴とする請求項1 4に記載の方法。